



西町の風

～生き生きのびのび西町っ子～

長崎市立西町小学校
校長 竹市 加津典

○8月9日「平和を願う会！」

81回目の長崎原爆の日は、朝から曇りの天気。子供たちは、久しぶりの登校でしたが、元気よく挨拶をしてくれる子供もたくさんいました。

本校では、各学級での活動、及びなかよし運営委員会が中心となって進めた「平和を願う会」を通して、原爆や戦争の恐ろしさ、悲惨さ、また、平和の尊さについて考える1日となりました。

今年も原爆の被害の様子がわかる写真パネルや、子供たちの平和に関する標語などを会議室に展示し、学級ごとに見て回りました。標語には、子供たちの世界平和を願う気持ち、今の平和が続きますようにとの願い等を表現したものや、みんなで仲良く過ごしたいなど、自分ができること、頑張ることを表現したものもありました。

「平和を願う会」は、今年も熱中症対策として、校長室と各教室をオンラインで結んで実施しました。絵本の読み聞かせでは、なかよし運営委員会の子供たちが、正確に読むことや早口にならないようにすることを意識しながら、自分の役割をしっかりと果たそうと頑張ってくれました。当時の様子をしっかりと伝えることができました。



○「忘れないこと！ 次の世代へ、世界へ伝えること！」

長崎で学んでいる子供たちとして、長崎を最後の被爆地にするためには、81年前のことを忘れないこと、そのために伝えていくことが大切であること等についても、しっかり考えてもらう機会にもなりました。



○大盛況！そうめん流し！

今年も8月9日のお昼、父親クラブの方々、子供たちのために「そうめん流し」を体験させてくれました。この日は曇り空でしたので、屋外でもそれほど暑さも気にならず、また、玄関前の傾斜を利用した竹で作った流し場もちょうどよく、皆さんで楽しむことができたようでした。

中には、「もう、お腹いっぱい！」と言いながら、ソーメンをほお張る子供たち！みんな笑顔でした。

早朝からソーメンを湯がいたり、流し場を作ったり、様々な準備をしてくださった皆様、ありがとうございました。



